

多摩都市計画道路3・1・6号 南多摩尾根幹線
トンネル工事 説明会（オープンハウス形式）

- ・令和8年8月 8日（土）午後1時～午後5時
野村不動産いなぎアリーナ（総合体育館） 来場者 83 名
- ・令和8年8月29日（土）午後1時～午後5時
多摩市立聖ヶ丘コミュニティセンター（ひじり館） 来場者 41 名

説明会における、来場者からの主なご質問と回答について

Q1. トンネルを掘る際の振動や騒音に対する対策を教えてください。

本工事では施工に際し低騒音型建設機械を使用し、騒音振動の低減に努めてまいります。
また、トンネル掘削に先立ち、坑口に防音ハウスを設置します。騒音が発生する設備を防音ハウス内に配置することで、周辺環境への影響を抑え、基準値内で施工します。



防音ハウスイメージ図

Q2. 掘削土砂を運搬するダンプトラックの走行ルートと台数を教えてください。

原則として、尾根幹線の本線を通行します。台数は上下線の掘削開始後は最大で約 110 台/日を想定しています。

Q3. 掘削した土砂は、現場外に仮置きするのか教えてください。

尾根幹線内の中央分離帯に仮置きをすることとしています。

Q4. ダンプの台数やどこまで掘削が進んでいるか等、情公開してほしい。

公表内容については現在検討中ですが、別途、工事のホームページを作成し、トンネル工事の進捗状況や計測結果等公表します。

※こちらの2次元コードからご確認いただけます。



Q5. トンネル本線の開通時期を教えてください。

本工事の工期は令和 12 年（2030 年）2 月までであり、その後も設備工事、舗装工事、トンネル前後の街築工事が必要です。早期完成に向けて安全に工事を進めていきます。

Q6. 湿地への影響はないのか？

計画道路は湿地から離れた土地の地下をトンネルで通過するため、トンネルの掘削工事により湿地の生息（育）環境に影響を及ぼす可能性は低いと考えております。また、工事の完了後における影響を最小限にとどめるため、トンネル坑内に地下水が入り込まないよう、ウォータータイト構造を採用しております。

Q7. 切回し道路を今行う理由がわからない。

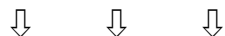
現在の北側の道路から将来の本線に安全に合流できるようにするため、北側の道路を盤下げする必要があります。この工事を通行止めなく実施するために交通切回しを行います。交通切回しは、盤下げを本線の開通までに完了するために、トンネル工事と並行して行う必要があります。（※説明会資料(P25,26)をご参照ください。）

Q8. トンネル完成後の現道(現ルート)の扱いについて教えてください。

現道(現ルート)は現況のまま通行できます。

8月8日の工事説明会当日、多摩テレビから取材を受けました。

YouTube にて視聴可能です。



URL：https://youtu.be/zFcioC7QJLE?si=5HwVYzwqatWa7BLi

以 上